

市政に関する一般質問

6月会議は20名の議員が質問

不登校、長期欠席の児童生徒について

後 関 俊 一 議員

問 今年度から導入した校内教育支援センター支援員の運営状況と人数を伺います。

答 市内全小中学校に教育支援センターを開設し、市独自に校内教育支援センター支援員、通称ひだまり先生を5名

北千葉道路の完成を見越した街づくりについて

伊 藤 仁 議員

問 北千葉道路の環境への影響は、事業者の実現可能な範囲で、できる限り回避または軽減され、振動についても合法であるとのことですが、国の基準は寝ている人が起きない程度のもので。しかし、

阪神高速道路の沿道の住民の多くが国の振動規制内であるにもかかわらず、振動に悩まされているアンケート結果もあるため、基準に合致するだけでなくより良い住環境を目指して良いのではないですか。

子育て支援について

寺 本 真 理 議員

問 保育所の国基準以外の待機児童解消に向けた取組を伺います。

答 現在、民間保育所等2か所の新規整備を進めており、さらに、鎌ヶ谷市こども計画における教育、保育の提供体制の推進策として、令和9年

問 現在、民間保育所等2か所の新規整備を進めており、さらに、鎌ヶ谷市こども計画における教育、保育の提供体制の推進策として、令和9年

問 同計画の新規事業である地域子育て相談機関の設置状況を伺います。

答 令和7年4月1日に市内6つの児童センター及び4つ

改正道路交通法施行令の施行について

森 谷 宏 議員

問 令和8年9月1日施行の法改正の概要を伺います。

答 一般道路のうち中央線、中央分離帯がない1車線の道路で、道路幅員5・5m未満の道路、主に生活道路を対象に最高速度を時速60kmから時

問 一般道路のうち中央線、中央分離帯がない1車線の道路で、道路幅員5・5m未満の道路、主に生活道路を対象に最高速度を時速60kmから時

問 市民への周知等について伺います。

答 運転者への周知は基本的に千葉県公安委員会が行いますが、今回の改正は特に重要な事項のため、市広報やホームページを活用するほか、様々なイベントを通じた周知を図ります。また、市や警察、交通安全協会や安全運転管理者協議会が共同で行う交通安全運動のイベントでも取り上げられるよう連携を図っていきます。

道路の安全及び水害対策について

泉 川 洋 二 議員

問 東初富一丁目の水害対策について、今後どのような取組を考えていますか。

答 施設の点検や維持管理を行いながら、これまでの対策の効果を検証し、さらなる改善を図るために実施可能な対策を調査研究していきます。

また、周辺流域での開発時における雨水流出抑制施設の設置指導、建築時における雨水浸透柵の設置促進を図り冠水対策に努めます。

持続可能な地域公共交通網の形成について

山 中 優 宏 議員

問 鎌ヶ谷市地域公共交通計画の策定にあたり、移動に関するニーズや課題の把握が必要と考えますが、本市で予定している地域公共交通に関するニーズ調査の方法、期間及び対象を伺います。

答 本年度中にアンケート調査を実施し、期間はおおむね1か月程度、対象は市内在住の15歳以上とし、3千名を無作為抽出する予定です。

問 公共ライドシェアなどの新たな地域公共交通のあり方を二一調査に基づいて、議論や検討をしていくことはあります。

答 対象は一時預かり事業のほか、こども誰でも通園制度（通称）に係る利用料や両事業の給食費を予定しており、令和7年8月に導入する予定です。

問 公共交通ネットワークの利便性の向上を図りつつ、道



コミュニティバス

市議会キッズページ

子どもたちに市議会を身近に感じてもらうため「実際にあった市議会ストーリー」や「市議会での話し合い」「市議会Q&A」などに項目を分けてわかりやすく紹介しています。市議会ホームページでご案内していますので、ご覧ください。



※中学生版キッズページもあります。

スポーツ振興について

伊 福 幸 一 議員

問 屋外でバスケットボールをするための設備の設置について伺います。

答 本市の公園は大半が住宅街にあるため、ボールの利用はスペースや騒音等の問題から禁止しています。バスケットゴールの設置については、周囲をフェンス等で囲う必要

声もあることから、近隣住民等に配慮し、多目的グラウンド等へのバスケットボール設備の設置について、他市の状況等を踏まえ、調査研究していきます。



学校給食について

針 貝 和 幸 議員

問 学校給食で提供される牛乳を飲まないで停止した場合の返金方法と返金額を伺います。

答 学校給食費の牛乳相当分を算定し年度末に返金することとし、移動手段など、新たな制度等も含め、鎌ヶ谷市地域公共交通活性化協議会でいただいた意見を議論、検討していきます。

公共施設の利用者の管理とコスト負担のあり方

水 町 元 大 議員

問 公共施設の利用実態を伺います。

答 本年度中にアンケート調査を実施し、期間はおおむね1か月程度、対象は市内在住の15歳以上とし、3千名を無作為抽出する予定です。

問 市の使用料の見直しに関する基本方針で公共施設の稼働率の目標数値は50%ですが令和5年度は11施設中13施設で50%を上回る状況です。

問 市庁舎駐車場を有効活用するため課題を整理し、有料化を含め検討します。

問 今後の人口減を踏まえた

本市のプロポーザルについて

徳 野 涼 議員

問 令和3年度から令和6年度までのプロポーザル45件のうち19件で応募事業者数が1者となっています。1者のみの場合、提案金額が提案限度額に近い印象がありますが、見解を伺います。

答 プロポーザル方式は、単

に価格競争だけではなく、提案内容や実施方針、技術力、実績など、内容や質を重視して、より優れた事業者を選定することを趣旨としています。

問 本来であれば、応募事業者数と提案金額に相関はないはずですが、あるのが現状で

す。より多くの企業に応募してもらうための方策はありますか。

答 募集要項等を通じて提案のポイントや審査基準を明確にするとともに、募集期間や企画提案書提出までの期間を十分に確保し、より多くの事業者への募集内容の周知などに取り組んでいます。今後とも研究を続けていきます。



学校給食の一例